

自律判断AIの利用による知見のデジタル資産化と業務自動化を共有

ベテランの知見や関連部門の要求を反映した、製品コンセプトごとの部品選定自動化について、下記項目を共有させていただくことで、仕組み構築の手順、知的資産を組み込む方法、判断プログラムの開発仕様、業務自動化の拡張、判断精度が高い理由、技術や運用の変化に追従する仕組み…他について、ご理解をいただけます。これにより **弊社特許技術の活用判断** に繋げていただけましたら幸いです。

【共有内容：全5日】

1. 判断根拠となる情報の選定
2. 製品コンセプトごとの関連部門要求の共有
3. 判断根拠のテーブル設定
4. 部品マスターの整備
※ 判断根拠情報のプログラム利用設定の仕様確認)
5. シミュレーションによる選定精度の確認
6. 既存ITシステムへの組み込み方法の決定